

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	入間市防災会議
開 催 日 時	令和4年12月19日(月) 午後1時30分開会 午後2時22分閉会
開 催 場 所	入間市庁舎 5階 501会議室
議 長 氏 名	杉島 理一郎
出席委員(者)氏名	「入間市防災会議委員名簿」のとおり
欠席委員(者)氏名	「入間市防災会議委員名簿」のとおり
説明者の職氏名	危機管理課 主幹 石上 雅喜 副主幹 喜多 宏和
会 議 次 第 (公開)	1 会長あいさつ 2 議題 地域防災計画の改訂について 3 報告事項 令和4年度第44回入間市防災訓練の実施結果について 4 その他
傍 聴 者 数	4名
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・入間市防災会議委員名簿 ・次第 ・資料1 地域防災計画の改訂について ・資料2 令和4年度入間市防災訓練の実施結果について ・入間市地域防災計画 新旧対照表(令和4年度) ・入間市地域防災計画(令和5年4月改訂(素案))改訂箇所のみ抜粋 ・意見書
事務局職員職氏名	危機管理監付参事兼危機管理課長 藤田 拓也 危機管理課 主幹 石上 雅喜 副主幹 喜多 宏和 主任 小塚 彩加 主事 吉原 彩夏
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

議題に入る前に、杉島議長から次の2点について提案され、各委員の承認を得た。

- ① 本会議を公開とする。
- ② 本会議の会議録署名者に小太刀亨委員を指名する。

1 会長あいさつ

2 議題

事務局から資料1に基づき「地域防災計画の改訂について」を説明した。示した改訂案で事務を進めていくこととなった。

3 報告事項

事務局から資料2に基づき、「令和4年度第44回入間市防災訓練の実施結果について」を報告した。

4 その他

事務局から、次回の会議日程について説明した。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分について記述する。)</p>
杉島議長	<p>「地域防災計画の改訂について」を議題とする。事務局より説明を願う。</p>
喜多副主幹	<p>～資料1及び新旧対照表に基づき、地域防災計画の改訂について説明～ (資料1 2. 今後のスケジュール についての訂正) 第3回防災会議について、3/19(金)となっているが、3/17(金)の間違いであるため、訂正する。</p>
杉島議長	<p>只今事務局が説明した「地域防災計画の改訂について」の意見はあるか。</p>
矢崎委員	<p>改訂素案の総-11「第5 市民等の責務 2 市民」の部分で、防災訓練その他の自発的な防災活動への参加等とあるが、市民が責務としてどれだけ理解しているのか、また総-24にも「第7 行政・企業・市民等の協力体制の整備と防災意識の高揚」とある。自治会としても市民等の責務を周知徹底していきたいと考えるため、市の方にも周知をお願いしていきたい。</p> <p>続けて、コロナ禍になってから、市民への防災教育や過去行われていた防災リーダーの育成講座について、最近は全く開催されていない。</p> <p>また、消防団員が全国で80万人になり、毎年1万人ずつ減少傾向にある。いかに新しいふさわしい人材を確保するのが大切になってくるため、強く申し上げたいと思う。</p>
藤田参事	<p>昨年度から、防災士の資格を持った防災アドバイザーを採用している。各自主防災会の相談事等、防災アドバイザーと一緒に今後とも解決に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>自治会未加入者については、昨年度作成した防災ガイドブック等を用いて、自治会への加入・訓練参加等を促していきたいと考える。</p> <p>新しい人材については、市としては中学生への防災教育を重点的に行っていきたいと考える。最近の例でいくと、西武中学校全生徒を対象にマイ・タ</p>

	<p>イムラインを防災アドバイザーにより講習した。災害に備える段階での防災教育を中学生等を実施していきたい。</p>
矢崎委員	<p>改訂素案の予-72「第4 学校における防災意識の啓発 1 学校行事としての防災教育」の部分で、子どものころから防災教育を行うことはとても重要なことであると考えます。将来の消防団員になり得る人材でもある。入間市の消防団員の数は減少している。</p> <p>また改訂素案の同じ箇所「3 教職員に対する防災研修」とある。教職員の方も防災士の資格を取得する等、市や教育長にご尽力願いたい。</p>
藤田参事	<p>これからも教育委員会等と協力しながら、中学生等の防災教育に取り組んでいきたい。</p>
杉島議長	<p>入間市消防団の西澤委員から意見はあるか。</p>
西澤委員	<p>今年8月に、金子小学校において、教職員や生徒の方と消防団が一緒になって避難訓練を行う取組を始めた。来年度には藤沢地区で同様に事業を行う予定である。より一層地域密着な活動を行っていきたい。また先ほど矢崎委員より防災リーダーという話があったが、子どもたちがサッカーや野球等のチームでリーダーになるように、防災リーダーになることが、ほかの子供たちから見て素晴らしい、格好いい、やってみたいと思うように取組をしていきたい。</p> <p>また入間市消防団の団員数について、現状は266名であり、消防団員の7～8割が、以前のように地元で根付いて商売をしている訳ではなく、会社に勤めながら消防団活動をしている。そういった方を団員として増やしていくような活動をしていきたい。皆様のお力添えがあってこそその消防団活動であるため、今後とも協力をお願いしたい。</p>
杉島議長	<p>教育長の中田委員から意見はあるか。</p>
中田委員	<p>学校の生徒は市民でもあるため、生徒に対する防災教育はとても大切なこ</p>

	<p>とである。中学生にあっては、地域で活動するにあたって非常に有益な人材になると考える。小学校中学校の9年間を通して、防災意識を身に付けられるよう取組を行っていききたい。</p>
<p>矢崎委員</p>	<p>自治会も精一杯頑張っていきたいと考える。</p>
<p>杉島議長</p>	<p>他に何か意見等あるか。</p>
<p>山川委員</p>	<p>改訂素案の応（震災）-40の「4 避難所における新型コロナウイルス感染症対策」の部分で、令和2年5月埼玉県が作成した「避難所の運営に関する指針（新型コロナウイルス感染症に対応したガイドライン）」に沿って、新型コロナウイルス感染症の自宅療養者は、災害時にホテル等療養施設に避難させる旨記載がある。しかし、新型コロナウイルス感染症第7波の際には、狭山保健所管内では5市で一週間に1万人の感染者が発生し、災害時にこの人数を県がホテルへ避難させることは実際には難しい。</p> <p>こういった新型コロナウイルス感染症患者の増加を受けて、災害時に県がホテル等療養施設を用意するまでの間、一時的に市町村に自宅療養者の避難先を設置してほしいと国が通知している。</p> <p>県がガイドラインを変えていないため恐縮ではあるが、市の地域防災計画に記載する等柔軟な対応をしてもらえないか。</p>
<p>藤田参事</p>	<p>市としては、新型コロナウイルス感染症等の自宅療養者の避難先として、自力で避難できる方については、産業文化センターを避難所として指定している。</p> <p>避難所対応については、マニュアルを基に避難所においては必ず熱を測り、発熱者については分離するようしており、避難所対応をする職員に対して、座学や実地訓練を通して認識させている。また防災訓練で避難所開設訓練を行い、自治会の方にも認識を図っている。</p> <p>これらの具体的な内容について、地域防災計画には記載がないが、市のマニュアルで対応している。</p>

杉島議長	<p>他に何か意見等あるか。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>いただいた意見を踏まえて、事務局の説明のとおり地域防災計画の改訂事務を進めていく。</p> <p>次に、「令和4年度第44回入間市防災訓練の実施結果について」事務局より報告を願う。</p>
石上主幹	<p>～資料2に基づき、令和4年度第44回入間市防災訓練の実施結果について報告～</p>
杉島議長	<p>報告事項について、何か質問等あるか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>それでは今年度の防災訓練実施結果を踏まえて、来年度の防災訓練について事務を進めていく。</p> <p>次のその他について事務局より説明する。</p>
喜多副主幹	<p>～次第 4 その他 に基づき、次回の会議について説明～</p> <p>(補足) 新型コロナウイルス感染症の拡大や、議事内容が軽微である場合などは、書面会議となる場合があるので了承願いたい。</p>
杉島議長	<p>以上で、本日予定していた事項はすべて終了した。これで議長の任を解かせていただく。(閉会)</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 5 年 / 月 // 日

議 長 の 署 名

杉島 理一郎

議長が指名した者の署名

小太刀 亨